

Aichi Pediatric Association

The 50th
Anniversary Issue

愛知県小児科医会
50周年記念誌

愛知県小児科医会
since 1959

愛知県小児科医会50周年記念誌発刊にあたって

愛知県小児科医会 会長

志水哲也



愛知県小児科医会は昭和34年(1959年)10月25日愛知県医師会館にて佐野寅一先生を初代会長として設立総会が開かれました。設立当時の会員数は198名(平成21年現在393名)であったと記されています。その後半世紀の時を経て今年設立50周年を迎えることとなりました。またここに50周年記念誌が発刊される運びとなり、まことにめでたく喜びの限りであります。

小児科医会が設立された昭和34年にはいろいろな出来事がありました。4月10日には天皇・皇后両陛下がご成婚され、日本中が祝賀ムードに包まれました。一方悲しい出来事としましては、9月26日に死者行方不明者5000名以上を出した、伊勢湾台風が上陸した年でもありました。当時医学部の学生であった私たちは、同級生と共に1週間ほどボランティアとして南区の水没地帯に出掛け、遺体の身元確認のお手伝いや、派遣された医師や看護師さん達とボートにのって巡回し怪我人の手当のお手伝いをしたことなど、あの悲惨な光景が今でも脳裏に浮かんでまいります。小児の医療面では、6月15日に急性灰白髄炎(いわゆる小児麻痺・ポリオ)が指定伝染病となり、コレラ、赤痢などの法定伝染病と同じ取り扱いを受け、罹患者が正確に把握出来ることとなりました。当時、ポリオの発生はかなりの数に上り、昭和33年は2,610人が罹患、昭和34年は2,917人、昭和35年には5,606人と最悪の状態でしたが、昭和36年に生ワクチンが導入され、現在日本におけるポリオがほぼ制圧されているのはご承知の通りです。このように昭和34年という年は非常に忘れられない年であります。

さて当医会では、平成元年10月に30周年記念式典、平成11年11月には40周年記念式典がおこなわれました。40周年以降の医会の事業としては、それまでと同じく総会、例会、講演会、臨床懇談会などの開催、会報の発行、ホームページによる広報活動、子どもの健康を守る会の開催、さらに産婦人科医会との共催による「良い子を生み良い子を育てる会」、そして愛知県医師会及び県内4大学医学部小児科学教室と連携して「子どもの健康週間」などを行ってまいりました。さらに全国規模の事業としては平成8年に阪名誉会長を会頭として行われた第7回日本小児科医会セミナーに続き、平成16年に杉浦名誉会長を会頭に「今、小児科医が子どものために学ぶべきこと」-Refresh in Nagoya-をメインテーマとして第15回日本小児科医会セミナーを開催し成功裏に終わることができました。これらのことは関係機関や会員の先生方の温かいご支援の賜物と思えます。

定期の事業のほかに、定期予防接種の広域化、任意予防接種の公費補助、小児初期救急医療体制の確立、子ども医療費自己負担分の公費補助、はしか撲滅に向けての全数把握、園学校保健、母子保健、子育て支援などを目的として活動してまいりました。予防接種の広域化については何度も要望書を提出し、少しずつではありますが医療圏レベルでの広域化が進んできています。小児救急の危機が叫ばれる中、0.5次の小児救急として愛知県及び愛知県医師会とともに小児救急電話相談事業が開始され軌道にのってまいりました。また麻しんの全数把握は全国に先駆けて実施されました。子ども医療費の自己負担分の助成については、平成20年4月から愛知県の基準が従来の4歳未満児から大幅に拡充され、通院で義務教育就学前、入院で中学校卒業まで助成されることとなりました。通院についてもそれに上乗せして中学生まで助成している市町村も多くなってきました。今後の活動としては、自治体間における医療費助成の格差是正に向けての取り組みや、全県下における予防接種広域化に向けてのさらなる活動、任意予防接種の公費補助の要望、園学校保健、子育て支援など、取り組まなければならない課題が沢山あります。

小児疾患や小児医療に対する社会からのニーズは時代とともに大きく変遷してきました。最近では核家族化、少子高齢化がさらに進行し、一見豊かにはみえますが人間関係がより希薄となり、それとともに生み出された子どもの心の問題や虐待などがクローズアップされ、小児科医が以前には経験することが少なかった新たな変化に真剣に取り組まなくてはならなくなっています。私たちは先人達の残された様々な知識を学び、未来ある子ども達の幸せを第一に考え、そしてそれを支援する小児科医としての資質を向上させ、頑張ってゆきたいと考えます。

この50周年という節目を機会に「これまでを振り返り、これからを考える」をテーマとして記念誌を発刊することといたしました。お忙しい中、ご執筆頂きました皆様並びに編集委員の皆様^に厚く御礼申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。発刊のご挨拶とさせていただきます。

愛知県小児科医会50周年記念誌 目次

◆巻頭言

50周年記念誌発刊にあたって 愛知県小児科医会会長 志水 哲也

◆50周年記念誌発刊に寄せて

- 祝 辞 愛知県健康福祉部健康担当局長 五十里 明 …… 2
- 50周年記念誌発刊に寄せて 日本小児科医会会長 保科 清 …… 4
- 愛知県小児科医会設立50周年を祝して 愛知県医師会会長 妹尾 淑郎 …… 6
- 小児科・婦人科の連携の今昔、そして今後について
愛知県産婦人科医会会長 可世木成明 …… 7
- 発刊に寄せて 三重県小児科医会会長 熱田 裕 …… 9
- 記念誌発刊に寄せて 石川県小児科医会会長 浅井 恭一 …… 10
- 愛知県小児科医会創設50周年記念誌発刊に寄せて
岐阜県小児科医会会長 桑原 英明 …… 12
- 発刊に寄せて 富山県小児科医会会長 高田伊久郎 …… 14
- 発刊に寄せて 「ながのこどもの城いきいきプロジェクト」の活動
長野県小児科医会会長 藤森 克之 …… 16
- 発刊によせて 福井県小児科医会会長 清水 紘昭 …… 19
- 愛知県小児科医会創立50周年を祝して 名古屋大学大学院医学系研究科
発育・加齢医学小児科学成長発達医学教授 小島 勢二 …… 21
- 祝 愛知県小児科医会設立50周年
名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野教授 戸苅 創 …… 22
- 愛知県小児科医会創立50周年を祝して
藤田保健衛生大学医学部小児科学教室教授 浅野 喜造 …… 23
- 発刊によせて 愛知医科大学医学部小児科教室教授 鶴澤 正仁 …… 24
- 発刊に寄せて 愛知県健康福祉部 吉田 京 …… 26

◆愛知県小児科医会の沿革（愛知県小児科医会のこれまでとこれから）

- 愛知県小児科医会の思い出－医会と私－ 愛知県小児科医会名誉会長 阪 正和 …… 30
- 小児科医と小児科医会のこれから 一創立50周年を迎えて一
愛知県小児科医会名誉会長 杉浦 壽康 …… 32
- 愛知県小児科医会の活動について 愛知県小児科医会会長 志水 哲也 …… 34

◆愛知県小児科医会活動のこれまでとこれから－最近の歩み

＜行政への働きかけ－医療費助成など＞

愛知県小児科医会からの各種要望について 愛知県小児科医会会長 志水 哲也 …… 38

＜委員会報告＞

庶務委員会	山川 毅 ……	41
広報委員会	牧 紀衛 ……	43
例会委員会	大西 正純 ……	47
臨床懇談会委員会	加藤 敏行 ……	54
生涯教育委員会	岡田 純一 ……	62
情報システム委員会	吉田 政己 ……	65
子どもの健康を守る会	有吉 允子 ……	65
よい子を生みよい子を育てる会	鬼頭 昌康 ……	67
予防接種委員会	永井 秀 ……	68
勤務医対策委員会	都築 一夫 ……	72
小児医療安全対策委員会	小川 昭正 ……	73
地域関連事業委員会	松岡 宏 ……	75
健康ワンダフル	岩間 正文 ……	79
救急委員会	岩佐 充二 ……	82

◆県下各地区小児科医会のこれまでとこれから

海部・津島(ANT)小児科医会の歩み	海部・津島小児科医会	鈴木 孝一 ……	88
一宮小児科医会	一宮小児科医会	平谷 良樹 ……	91
これまでを振り返り、これからを考える	岡崎小児科医会	深田 昭彦 ……	93
春日井市小児科医会	春日井市小児科医会	伊藤 道男 ……	95
刈谷・安城・碧南小児科医会のこれまでとこれから	刈谷・安城・碧南小児科医会	宮谷 真正 ……	97
小牧小児科医会のこれまでとこれから	小牧小児科医会	後藤 恒規 ……	103
瀬戸旭小児科医会のこれまでとこれから	瀬戸旭小児科医会	長江 秀利 ……	107
知多半島小児科医会	知多半島小児科医会	中島 崇博 ……	111
豊田加茂小児科医会のこれまでとこれから	豊田加茂小児科医会	安藤 伯秋 ……	115
名古屋市小児科医会のこれまでとこれから	名古屋市小児科医会	北條 泰男 ……	119
愛知県小児科医会50周年を祝して	東三河小児科医会	大谷 勉 ……	122
尾北小児科医会のこれまでとこれから	尾北小児科医会	尾崎 隆男 ……	123

◆愛知県小児科医会会員のこれまでとこれから（寄稿）

愛知県小児科医会のこれまでとこれから	（顧問）	山崎 俊夫 ……	130
これまでを振り返り、これからを考える	（顧問）	宇理須厚雄 ……	131
一老小児科医の思い出	（監事）	林 秀一 ……	132
子どもの本が伝えること	（監事）	杉浦 潤一 ……	134
医師としての50年を振り返って	（参与）	小川 正道 ……	136
50年の歳月と新生児医療の流れ	（参与）	後藤 玄夫 ……	138
今日の子どもは 明日への希望	（参与）	石川 達也 ……	140
愛知県小児科医会のこれまでとこれから	（参与）	尾崎 隆男 ……	142
恩師 西村豊先生	（参与）	宮澤 玄治 ……	143
愛知県小児科医会創立50周年を顧みて	（参与）	新家 正美 ……	146
あいち小児保健医療総合センターと愛知県小児科医会について			
あいち小児保健医療総合センター名誉センター長		長嶋 正實 ……	150
愛知県小児科医会会員のこれまでとこれから（副会長として）			
	（副会長）	宮田 隆夫 ……	152
愛知県小児科医会50周年によせて	（副会長）	平谷 良樹 ……	154
これまでを振り返り、これからを考える	（副会長）	深田 昭彦 ……	155
小児科医会と私	（副会長）	久野 邦義 ……	157
女医の理由	（理事）	水野 愛子 ……	158
小児科医としての歩み	（理事）	宮口 英樹 ……	159
電子情報化社会に接して思うこと	（理事）	津村 治男 ……	161
時代と共に ー小児科医会に入会してー	（理事）	渡辺 勇 ……	163
在宅医療を受けている子どもの思い	（理事）	川瀬 淳 ……	166
私の小児科人生	（理事）	渡辺 俊彦 ……	167
小児科女性医師 復職支援のとりくみ	（理事）	水野美穂子 ……	168
診察室で考える子どもの貧困 ー私たちの心と政治の貧しさの反映ー			
	（ニコニコこどもクリニック）	荻野 高敏 ……	171
二代目小児科医の回顧録	（村上医院）	村上 正 ……	172
子どもの健全育成を願って50年	（松本こどもクリニック）	松本 宏 ……	174
愛知県小児科医会 創設50周年によせて	（後藤小児科医院）	後藤 典 ……	175
小児科医の発言を強めていくために	（ささき小児科）	佐々木俊也 ……	177
小児科医師としての防煙・禁煙活動			
ー「子どもをタバコから守る会・愛知」の設立後の活動についてー			
	（青山病院小児科）	中川 恒夫 ……	178

小児科医になって35年	(瀧田医院) 瀧田 恭代 ……	180
小児科医もどきの40年	(広瀬クリニック) 広瀬 滋之 ……	182
変身する小児科医	(表山クリニック) 魚住君枝子 ……	183

◆愛知県小児科医会会則

愛知県小児科医会 役員名簿	……	188
愛知県小児科医会 理事職務分担	……	189
愛知県小児科医会 会 則	……	190
愛知県小児科医会 会則施行細則	……	194

編集後記

牧 紀衛 ……	196
---------	-----